

## 一関市巖美町字岡山地区で実施した 岩手・宮城内陸地震の地震断層のトレンチ調査風景

<丸山 正<sup>1)</sup>>



2008年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震では従来活断層が認定されていなかった場所に地震断層が出現しました。一関市巖美町岡山では、上下変位10cm程度の地震断層が、過去の断層活動でできたとみられる比高2～3m程度の崖に沿って現れました。この崖を掘削したところ、地形と調和的な地層の撓曲変形が確認されました。地層の変形パターンから、過去には上下変位量が2m以上と今回よりも明らかに大きい変位を伴う地震イベントがあったことが分かりました(梯子の長さは約4m)。